



# 川の国応援団通信



第9号

(平成28年12月13日発行)

## 川の再生地域交流会を開催！！



埼玉県のマスコット「コバトン」

今年には県内4会場で開催、計140名にご参加いただきました。各会場の詳細については、報告書を水環境課のホームページへ掲載しています。ぜひご覧下さい。

### ☆6月14日(所沢市・清瀬市)

川づくり・清瀬の会のご案内で柳瀬川の天然護岸や河畔林を散策後、空堀川との合流地点における工事現場を見学しました。午後は、中里地域市民センターで意見交換を行いました。

### ☆7月2日(杉戸町)

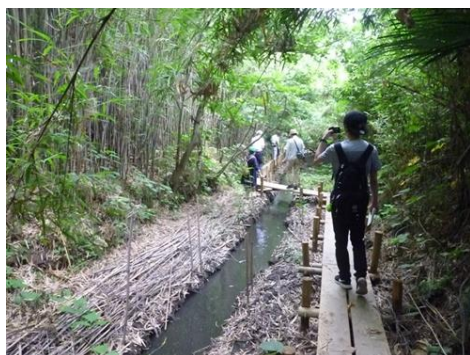
南側用水路清流プロジェクトにより、南側用水路の再生の取組をご紹介いただきました。水路に設置された「木道」は、小学生から大人まで、皆さん興味深く見学されていました。

### ☆7月9日(日高市)

埼玉県河川環境団体連絡協議会の企画で、高麗川に整備された散策路を見学後、高麗公民館でグループ討論と発表を行いました。

### ☆6月24日(熊谷市)

【リーダー育成研修】唐沢川を愛する会の企画で、熊谷市荒川公民館において実施しました。団体が活動を継続する上での課題について、グループ討論と発表を行いました。



南側用水路の木道(杉戸町)



空堀川沿い(所沢・清瀬市)

### ☆地域交流会について

川の国応援団体同士の交流や情報共有を目的として毎年開催しています。各地域の活動団体が企画を担当し、当日は河川の現場を見学後、感想や意見の交換、事例発表を行うのが通常の流れです。現場見学では、団体の説明により、活動成果を知ると同時に地域の課題に対する理解を深めることができます。

意見交換では、今後の活動について様々な意見が交わされます。他団体の活動を知る貴重な機会であり、参考になったとのご意見を頂いています。

★リーダー育成研修について  
団体が活動を継続していく上での課題「後継者を育てたい」「多くの参加者を集めたい」といったテーマについて話し合う場です。

来年も、多くのご参加をお待ちしております。  
自分たちの活動をアピールしたい、情報提供できるとい団体は、企画を担当してみませんか？

発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1

(第3庁舎1階)

TEL: 048-830-3088

FAX: 048-830-4773

E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

☆活動予定や活動報告などをお寄せください。

☆資材の提供や貸出し等のご希望があればご相談ください。

☆連絡先等の変更があればご連絡ください。

川の国応援団のHP

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0505>

/kawanokuniouendan/index.html



リーダー育成研修(熊谷市)



高麗川散策路(日高市)

# 会員のひろば



## 活動報告

～609団体が県内各地で活動中！～

### 『川ガキ体験イベント』

平成28年度は県内36会場で開催され、合計2922人にご参加いただきました！

今年も、大変暑い夏でしたね。主催者の皆様、猛暑の中、準備から当日のイベント実行まで、お疲れ様でした。来年も、たくさんのお開催をお待ちしております！

今回は、2団体からの報告をご紹介します。

### ★夏休みカヌー教室 「草加パドラーズ事務局」

中島清治

七月二十三日、二十四日の二日間、綾瀬川左岸船着場付近で県内の子供たち十名を対象に「夏休みカヌー教室」が開催されました。第一日目は「カヌーになれる」という目標で、カヌーへの安定した乗り方、パドルの漕ぎ方を中心に体験しました。二日目は「カヌーを楽しむ」という目標で自分の力で自由に操船し、また、神明排水機場の水路をくぐる探検もしました。それ

ぞれ二時間ずつの体験でしたが、あつという間に終わってしまったような楽しい体験でした。「始めは怖かったけど、少しずつ慣れてきた。」「また、来年もぜひ参加したい。」と感想を述べてくれました。

かつて綾瀬川と云えば、日本一汚い「ワーストワン」の河川で知られていましたが、そこでこのような子供たちのカヌー体験が出来るようになってきたというのは、これまで多くの県民や行政の努力のたまものであると感慨深いものがあります。

しかし綾瀬川の現状は、まだまだ不法投棄と考えられる浮遊ゴミが目立ちます。草加パドラーズは、

毎年毎

土・日(二)

れらの浮

遊、ゴミ回

収活動を

実施して



ますが、国土交通省の協力を得て、トラックでゴミの回収に来ていただいております。今後とも末永く、スポーツ文化の向上と河川環境の美化活動を実施してまいります。

### ★秩父漁業協同組合「恒例」

#### 親子釣り教室

「事務局 大久保かおり」

親子釣り教室は、秩父市をはじめ埼玉県秩父農林振興センター、さらに(独)水資源機構荒川ダム総管理所の後援を受け、今年8月14日の開催で第11回を迎えました。当漁協の数ある催しの中では一番人気で、毎年、募集即定員に達しており、今年も50人の募集に対し21組75名の方においでいただきました。

さて、この釣り教室、内容は釣りに限りません。とても半日では収まらないような充実した構成となっています。

まずは荒川ダム管理所へ集合、釣歴何十年の熟練者による川魚の生態のお話や釣り技術について講義を受けます。また、ダム職員さんからは、川とダムの仕組みなど普段知り得ないお話を聞けます。この時、会場には漁協より持込んだ小さな水槽にやまめ・いわな等泳がせているのですが、みなさん興味津々で早くも実践へ思いが馳せているよ

うです。

いよいよ

よメイン、

漁協脇を

流れる浦

山川で釣

り実践。

思い通り

にいかず

隣の糸と

絡み合っ

てしまっ

たりす

る中、

大人まで

もう夢中。

でも心配

ご無用、熟練者の個別指導で誰で

も大漁です。

終盤は魚拓に挑戦、なかなか味の

ある完成度です。

そしてしめくくりは魚の塩焼試食。

こちらも朝から炭火スタッフがじつ

くり焼き上げておりますので大変

好評で、みなさんおかわりをお召

し上がり。

魚に興味を持ち、釣り伝統を次世代に…と始まった釣り教室、今では子どもも大人も楽しんでいただけるところと機会を提供しています。美しい自然を眺め、川の音を聞き、魚に触れ、匂いを感じて最後は食す、こんな五感を行使する体験はいかがですか。



## 特集

# 川の国アドバイザー 制度の紹介



川の国アドバイザーのお一人と、制度を利用された1団体の感想を紹介いたします。

### 「川の国アドバイザー」として

#### 環境学習を実施

#### 【布施 雅子】

6月14日、さいたま市立柏崎小学校4年生3、4時限の環境学習(総合学習)に行ってきました。

岩槻には一級河川が3本流れています。しかし、綾瀬川と元荒川は知っています。しかし、綾瀬川と元荒川は知っている人があまりいません。また学校の校歌には故郷の川の歌詞があります。故郷を愛し、大切にしましょう!などのメッセージが込められていると思います。

総合学習としては1時限に科学分野で、元荒川と綾瀬川の水と各家庭の風呂の水等をもってきてもらい水質検査をしました。台風後で元荒川の水は濁っていました。きれいなのが分かりました。また風呂の水などの検査では生徒が興味津々で盛り上がりました。

2時限では「元荒川・綾瀬川の博士になろう!」私の作った資料で1

〇の問題を出しました。地理分野(川の始まるところは?元荒川の起点は?元荒川の水系は?)歴史分野(江戸時代に河川改修した武士は?)生活分野(江戸時代、綾瀬川は何を運んでいたでしょう?綾瀬川、元荒川の水は何に利用されているでしょう?どんな水が流れているでしょう?岩槻区の生活排水処理場は何処にあるでしょう?生活排水はどんなものがあるでしょう?最後に皆さんが川を大切にするにはどんなことをしたらよいでしょう?これでみんな博士になりました。チエックシートも後の授業で考えてもらいました。子供たちには内容の深い勉強だったと思います。

これで水を大切に、川を大切にしてください。れたら嬉しうです。後日、生徒たちからお礼の手紙をもらいました。



### 「川の国アドバイザーに講師依頼」

#### 【加須市環境政策課】

市では、市内の自然資源を環境

学習等に

活用する

ため、市内

の水辺4か

所で「生物

基礎調査

兼自然観

察会」を実

施してい

ます。応募

してきた

小学生や、

近隣の小

学校の児

童とともに

生物採取、同定、記録を行って

ますが、そこに専門的見地から説

明・補助をしていただくため、平

成26年度から「埼玉県川の国アド

バイザー」への講師依頼をしてい

ます。

川の国アドバイザーの方には、

各々の専門分野の知識を、子ども

にも分かりやすく説明していただ

いています。子どもと一緒に採取

した生物を見ながら、メダカとカ

ダヤシの違い、トノサマガエルだ

と思っていたカエルが実はトウキ

ヨウダルマガエルだった...など、

子どもが興味を持てるような説明

から始まり、特定外来生物や生態

系ピラミッド、指標生物による水

質の判定など、少し難しい内容に



も触れていただき、充実した環境学習の機会となっています。引き続き、川の国アドバイザーの方々の御協力をいただきながら、子どもたちの環境学習を推進します。

### 川の国アドバイザーの 活用のすすめ

川の再生活動を行っている皆さん、「川の国アドバイザー」が皆さんの活動を支援します。

#### 〇川の国アドバイザーって?

川の国検定で上級合格された方が登録されています。

川に関する知識だけでなく、経験も豊富です。

#### 〇どんな支援を?

環境学習の講師、団体の運営や効率的な活動を行うためのアドバイスなどの支援を受けることができます。

#### 〇手続きは?

まず、水環境課に、希望する支援内容を連絡してください。

水環境課が、依頼内容にふさわしい方を紹介します。

依頼団体は、紹介された方と直接、調整してください。

#### 〇費用は?

講師の派遣料や謝金は、一切かかりません。



# 水循環センター（下水処理場）施設見学のご案内

埼玉の下水道マスコット（微生物をキャラクター化）



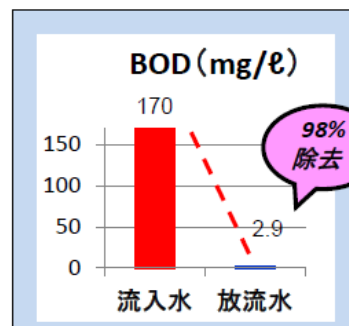
## ～川の再生に貢献～

下水処理場は、毎日家庭や工場などから出される汚水を、「微生物」によってきれいに処理し、河川に放流しています。埼玉県下水道公社が維持管理する6つの水循環センター（下水処理場）では、毎日約180万 $\text{m}^3$ （東京ドーム1.5杯分）の下水を処理しています。このことにより、悪臭や疫病の防止をはじめとする生活環境の改善に大きな役割を果たすほか、川の再生、水の循環にも貢献しています。また、ゲリラ豪雨のときなど、街を浸水から守る役割も担っています。水循環センターでは、下水道への理解や関心を深めていただくため、「施設見学」を随時実施しています。汚水が、微生物によりどのようにきれいになるのか、また水の循環や環境教育についても、施設見学が大変有効です。

### ■下水処理水の還流による不老川の再生

埼玉県西部を流れる不老川は、生活排水などにより、全国的にみても水質汚濁が著しい河川でしたが、きれいになった下水処理水を不老川の上流に圧送して放流するほか、流域住民等の取り組みによって、大幅に改善しました。

### ■放流水の水質（H27全センター平均）



### 施設見学ができる水循環センター



### ■施設見学の概要

概要説明（約30分）  
→処理場内見学（約40～60分）

※ご希望によってスケジュール変更は可能です。微生物観察や水質テストなども実施可能です。

また、会議室等を使用して昼食をとることもできます。

### 見学の流れ



下水道の仕組みを解説



処理場の地下通路を見学



水処理の工程を見学

（連絡先）埼玉県下水道公社 経営企画課 048-838-8585

e-mail: master@saitama-swg.or.jp

★埼玉県下水道公社のホームページでは、その他のイベント案内も掲載していますので、ぜひ御覧ください★

埼玉県下水道公社

検索